

アイヌの人たちの歴史・文化に関する授業実践

@北海道立北方民族博物館 講堂
宇仁義和 (東京農業大学)
unisan@m5.dion.ne.jp

4. 教材資料と授業実践

1) 冊子や報告書のpdf

アイヌ民族を理解するために 平成30 (2018) 年度版 北海道が発行するもつとも基本的な小冊子 (A5判) 。道アイヌ政策課の分割リンクページ
http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/ass/new_panf.htm

北海道教育庁のアイヌの人たちの歴史・文化等に関する啓発資料「ピラサ」

A4判両面カラーの各号へのリンクページ

<http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gky/pizara.htm>

アイヌ民族の歴史・文化等に関する指導資料～第5集～ 札幌市教育委員会教育者向け資料

アイヌ民族に関する教育。授業実践や体験活動の集成。2008年頃からの小中学校での実践報告や研究報告へのリンクがある。

https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/education/ainu/ainu_minzoku.html

ガイド教本・アイヌ民族編 (北海道観光振興機構 2007, 改訂版2009) 130

ページを越える広範で詳しい内容。モノクロだが写真あり。小型本 (新書判) のためB5に2ページ印刷が適当。955 KB

https://www.visit-hokkaido.jp/assets/file/document/2016/03/data1_file_22.pdf

末広のアイヌ文化学習 アイヌ文化学習で著名な千歳小学校の授業実践例。低中

高学年別の展開を紹介。カラーにつきファイルサイズ注意。42 MB

<https://www.city.chitose.hokkaido.jp/ed/suehiro/suehiroainu.pdf>

2) 研究論文

アイヌ民族に関わる学習 (歴史・文化) から見えてきた 多文化教育視点 (千葉誠治 2012) 元標茶小学校教諭による道東での授業実践例。児童の感想などあり。769 KB

https://www.jstage.jst.go.jp/article/socialstudies/2012/116/2012_1/_pdf/-char/ja

アイヌ文化学習の論理と展望-北海道白糠町の事例を通して- (新藤慶 2018)

群馬大学教育学部の研究論文。道内の地域別のアイヌ歴史教育や文化体験の普及状況も示す。7.8 MB

https://gair.media.gunma-u.ac.jp/dspace/bitstream/10087/11723/1/NO35_2018_22.pdf

3) 官公庁などのウェブページ：政策や責任省庁、関連団体がわかる

民族共生象徴空間「ウポポイ」ポータルサイトとして機能 <https://ainu-upopoy.jp>

アイヌ政策推進会議 (内閣官房アイヌ総合政策室) <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/ainusuishin/>

文化庁 (アイヌ文化の振興) <http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/ainu/>

国土交通省北海道開発局 (アイヌ関連施策) <https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ud49g7000000ao02.html>

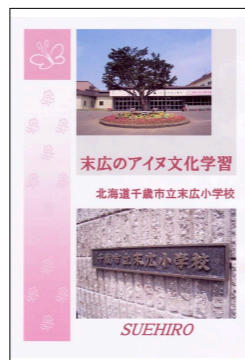
北海道 (環境生活部アイヌ政策推進局アイヌ政策課) <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/ass/index.htm>

(公財) アイヌ民族文化財団 国立アイヌ民族博物館の運営団体 <https://www.ff-ainu.or.jp>

(公社) 北海道アイヌ協会 地域団体が構成する共助団体 <https://www.ainu-assn.or.jp/index.html>

今回のレジュメと資料のリンク集 「宇仁 学芸員」で検索>ホームページにリンク>URLに「ainu」を追記してEnter

「アイヌの人たちの歴史・文化に関する授業実践」関連資料集 <http://nodaiweb.university.jp/muse/ainu/>



北海道開拓記念館 概要	北海道開拓記念館 概要
利用案内	利用案内
常設展示	常設展示
テーマ1 北の奇跡	テーマ1 北の大地
北の奇跡の成り立ち	北の大地の成り立ち
テーマ2 先住の人びと	テーマ2 アイヌ文化の成立
アイヌの生活文化	アイヌ文化とオホーツク文化
テーマ3 新天地を求めて	テーマ3 蝦夷地のころ
開拓の歴史	中世の蝦夷地
テーマ4 開拓の大地	開拓の歴史
開拓の歴史	開拓の歴史
テーマ5 産業のあゆみ	テーマ5 近代のはじまり
産業のあゆみ	開拓の歴史
テーマ6 北のくらし	テーマ6 不況から戦争へ
北のくらし	戦後の北海道
テーマ7 新しい北海道	テーマ7 新しい北海道
新しい北海道	新しい北海道
収蔵展示	収蔵展示
収蔵展示	収蔵展示

斜里のアイヌ夫妻 Romyn Hitchcock 1888 #28380
顔出しパネル (屈斜路コタンアイヌ民俗資料館)
中央：アイヌデザイン (北海道アイヌ協会 2018)

本日の内容

1. 大学生のアイヌ観
2. 地元の授業素材
3. ロミン・ヒッチコックの写真
4. ネットで読める授業実践と学習資料

1. 大学生 (オホーツクキャンパス) のアイヌ観
「常識テスト」のアイヌ関連設問への回答。2010年9月に実施。

学芸員養成課程受講学生77人の回答、道内出身者は7名 (9%)。初めての問いにおそらくカンで選択
使用言語 19人 (25%) アイヌ語と日本語が入り交じったクレオール
居住地 9人 (12%) 純系アイヌは居留地、混血者は他の人々と同様
生活 39人 (51%) 一部は伝統的な生活、大多数は現代的な生活
宇仁義和. 2011. 学芸員課程履修学生の常識度-教員が示すべき知識軸-. 全博協研究紀要, 13: 11-21.
http://nodaiweb.university.jp/muse/unisan/files/uni2011_joshiki.pdf 4.9MB

第1テーマ 北海道120万年物語 Hokkaido's Tale of 1.2 Million Years	3テーマ 北海道らしさの秘密 The Secret of Hokkaido's Unique Identity
1-1 人類の時代へ On to the Age of Humanity	3-1 自然の恵みとともに Together with Abundant Nature
1-1-1 大地のなりたち	3-1-1 はばたいた北海道アランド
1-1-2 旧石器文化	3-1-2 大地に生きる
1-1-3 縄文文化	3-1-3 海に生きる
	3-1-4 山に生きる
	3-1-5 道をつなぐ
1-2 北海道独自の文化へ Emergence of Hokkaido's Original Cultures	3-2 四季とともに Together with the Seasons
1-2-1 縄縄文化	3-2-1 四季を感じる
1-2-2 オホーツク文化	3-2-2 冬を生きる
1-2-3 縄文文化	3-2-3 くしを彩る
1-2-4 交易と舟のひろがり	3-3 三葉草
1-3 蝦夷地のころ The Age of Ezochi	3-3 《北海道らしさ》のアラ・カルト Hokkaido's Unique Identity. A La Carte
1-3-1 日本・唐・渡唐	
1-3-2 アイヌ民族と松前藩	
1-3-3 蝦夷地の産物コレクション	
1-3-4 ショワシャインの戦い	
1-3-5 ロシアの進出とアイヌ民族	
1-3-6 アイヌ民族と地所預借制	
1-4 蝦夷地から北海道へ From Ezochi to Hokkaido	
1-4-1 幕府開拓	
1-4-2 北海道開拓のはじまり	
1-4-3 さまざまな移住者	
1-4-4 アイヌ民族と北海道開拓	
第2テーマ アイヌ文化の世界 The Culture and Recent History of the Ainu	
2-1 現在を知る The Ainu in Contemporary Society	
2-1-1 食べる	
2-1-2 着る	
2-1-3 いのち	
2-1-4 住まい	
2-2 伝統を学ぶ The Traditional Culture and Ways of Life of the Ainu	
2-2-1 いいい女	
2-2-2 歌・語り・楽器	
2-2-3 絵で 書いて アイヌ文化の世界	
2-2-4 歩いて	
2-3 学びを伝える AINU Oral Tradition	
2-3-1 語り	
2-3-2 歌	
2-3-3 絵	
2-3-4 歩いて	
2-4 歩みをとどめる Recent History of the Ainu	
2-4-1 時代	

2. 地元の授業素材

1) 地方出版

- 網走市史上巻 (1958) 網走郡内アイヌ語地名解 著者は知里真志保
- 網走市史下巻 (1971) 行政視点の明治初期のアイヌ 各所に記述あり
- 斜里町史 (1955) 斜里アイヌ、アイヌ語地名解 (知里真志保)
- 斜里町立知床博物館の小冊子
- 特別展図録: 13近世の斜里、20知床の海獣狩猟、23知床の漁業
- 郷土学習シリーズ: 6知床半島西岸の地名と伝説、8地名探訪しゃり、9アイヌ文化・草と木樹



ノト口のアイヌのオヒョウ漁
松浦武二郎蝦夷山海名産図会 (知床の漁業)

2) ウェブページ

網走歴史の会 創作民話「チパシリ」とその時代 (小野寺 寛)

<http://okhotsk.vis.ne.jp/rekishi/chipashiri/chipashiri.html> テキストエンコーディング: Shift-JIS

時代背景や当時の受け止め方などを解説。内容は、1922 (大正11) に米村喜男衛が創作した戯曲、ふるさとの発見と網走文化の創造、3つの伝承を元に脚色、自己犠牲行動は当時の国民に響いたがアイヌ文化にそれがあったかは不明、軍国主義下では危機救済物語として副読本版が普及、戦後も親しまれ地名起源説として流布、エコーセンターに口セト像が設置。著者は網走市立図書館元館長



3) 博物館

- 網走市立郷土博物館 戦前に美幌アイヌの手で作られたチセのジオラマ
- 北海道立北方民族博物館 分解した祭壇や織り具、マネキンの不使用など具体性を排した展示
- 釧路市立博物館 道東で随一の展示、わざわざ見に行く価値あり

4) 標津屏風

標津川の秋鮭漁の様子を写実的に描く。標津町ポー川史跡自然公園に複製品が展示されており撮影可能。

実物は新潟市西蔵寺蔵。1864 (元治1) 年

「中標津郷土館だより」第25号に解説あり https://www.nakashibetsu.jp/kyoudokan_web/file/dayori25.pdf 1.4MB

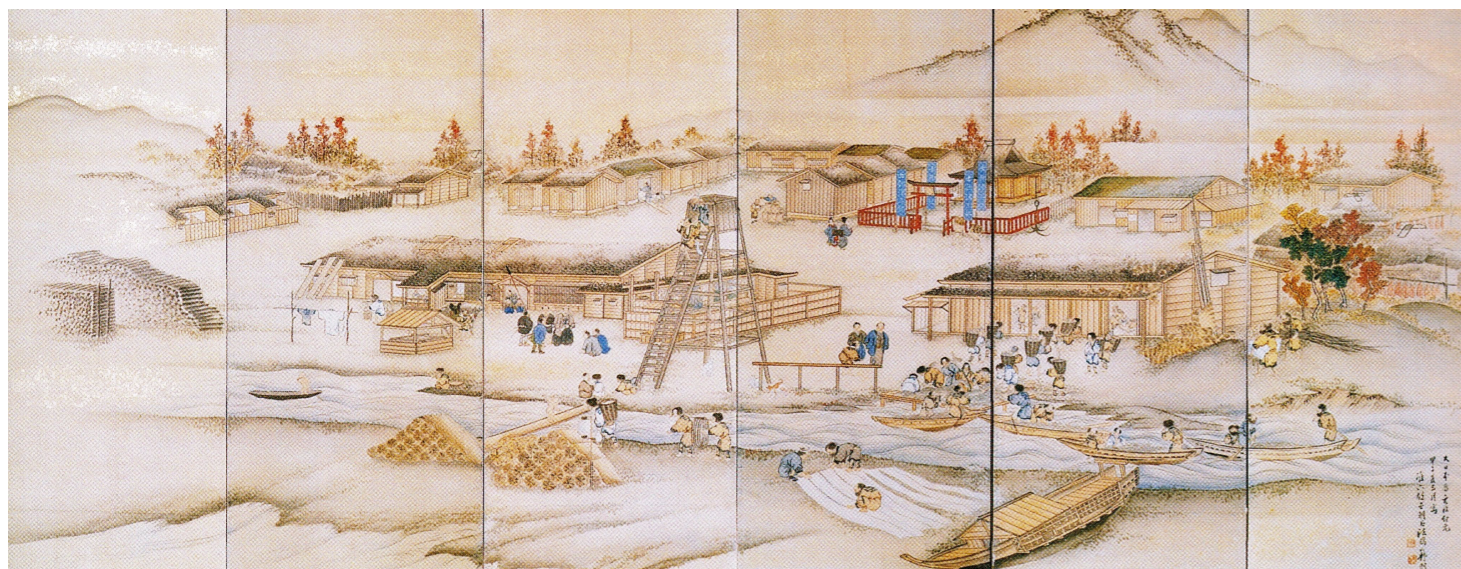


写真: 『知床の漁業』 (斜里町立知床博物館 2001) より 標津町ポー川史跡自然公園提供

3. ロミン・ヒッチコックの写真

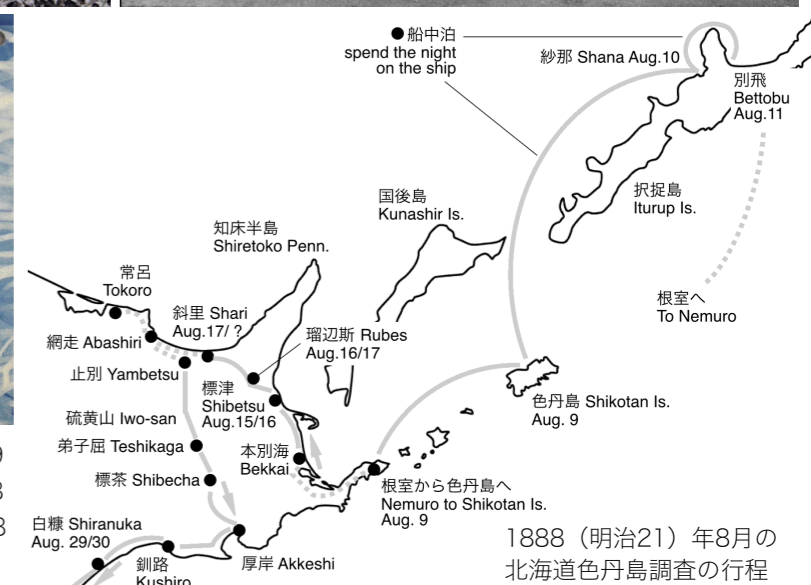
Romyn Hitchcock 1851-1923. 1888 (明治21) 年に道東や色丹島を訪問
アイヌの写真は色丹島、本別海、斜里、網走、常呂のもの現存
旅行記は本別海から斜里、止別から川湯標茶厚岸、釧路から大津、幌泉
撮影場所はない。報告書の和訳『アイヌ人とその文化』 (六興出版 1985)



766 Group of Ainu Abashiri



- 網走のアイヌ 中央は首長 #28388 帽子岩 #28819
- 斜里の家屋 #28830 網走市街地の旅館 #28818
- 常呂の家屋 #28828
- 本別海のアイヌ家屋の和人 #28767



写真はスミソニアンデータベースにネガ番号入れて検索すれば情報の閲覧可能

<http://collections.si.edu/search/> *2019.8.1現在画像が見られない

宇仁義和. 2015. ロミン・ヒッチコックが1888年に撮影した北海道と色丹島の写真と旅程. 北海道民族学, 11: 57-74.
http://nodaiweb.university.jp/muse/unisan/files/uni_2015_hitchcock.pdf 4.4MB